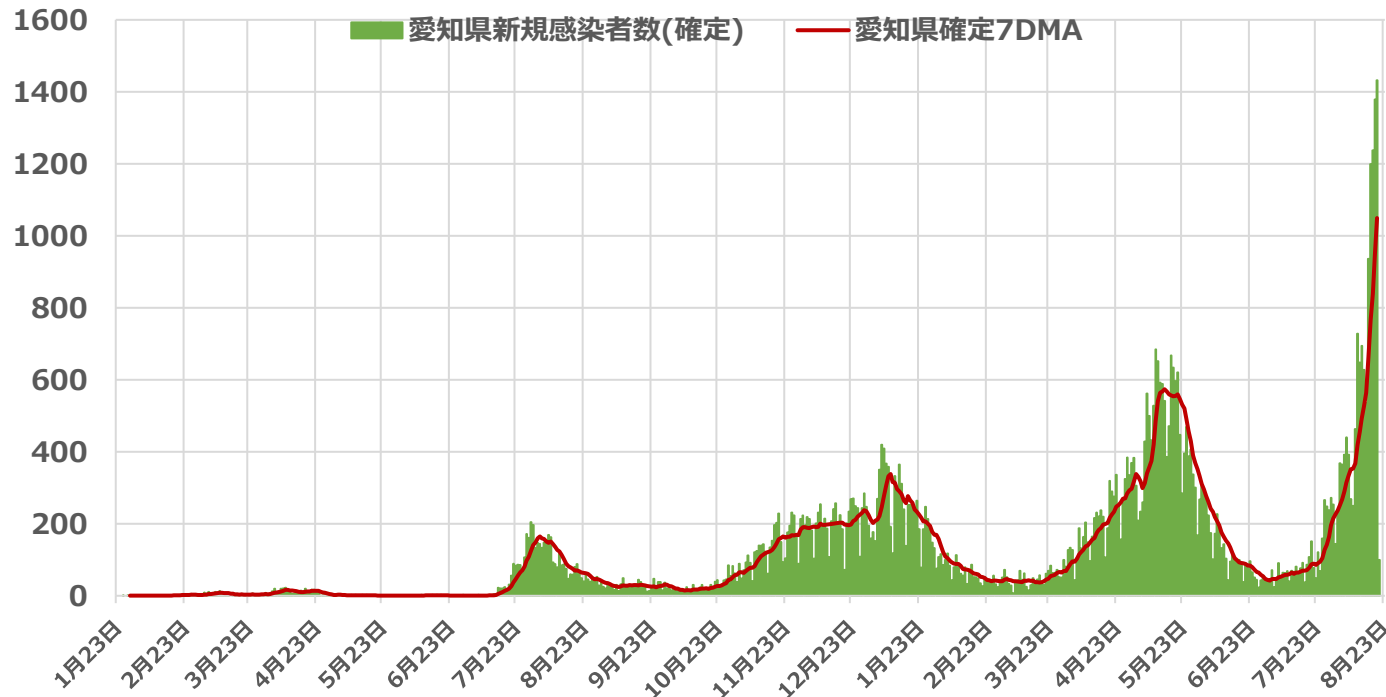


予測の更新

愛知県の新規感染者数の推移

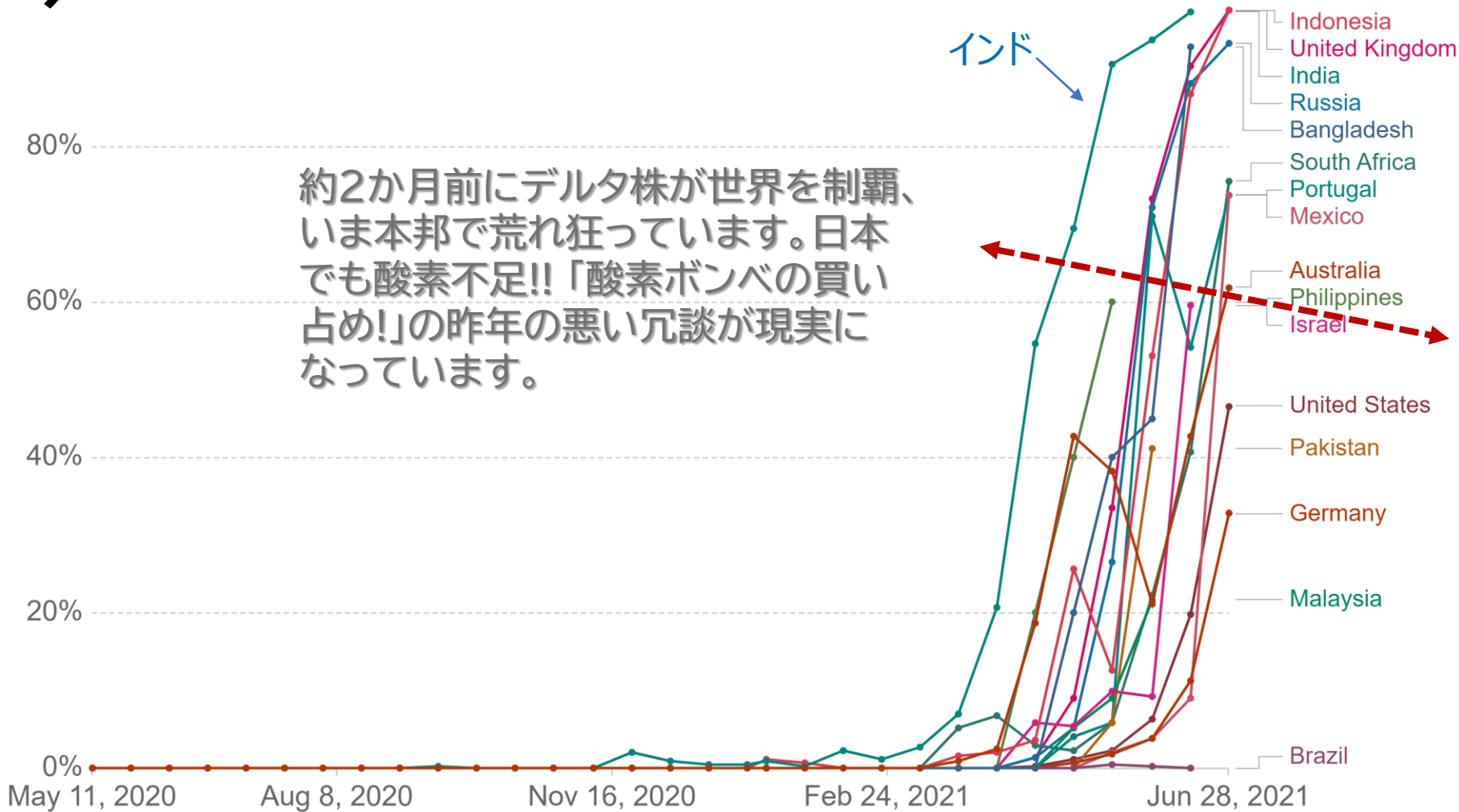


デルタ株による第5波・感染流行に8月9日突入して約2週間、愛知県の新規感染者数(1週間移動平均)は既に1,000人を越えました。どこまで行くのか?? 2週間早く7月26日に流行に突入し約4週間経過した首都圏4都県、及び地方6県*(熊本,愛媛,群馬,長野,佐賀,大分)の推移を参考に予測を修正しました。
*7月26日の週にデルタ株の割合が75%以上

Share of COVID-19 sequences that are the delta variant

Show the delta variant's share of total analyzed sequences in the last two weeks. Only a fraction of all cases sequenced.

Our World in Data

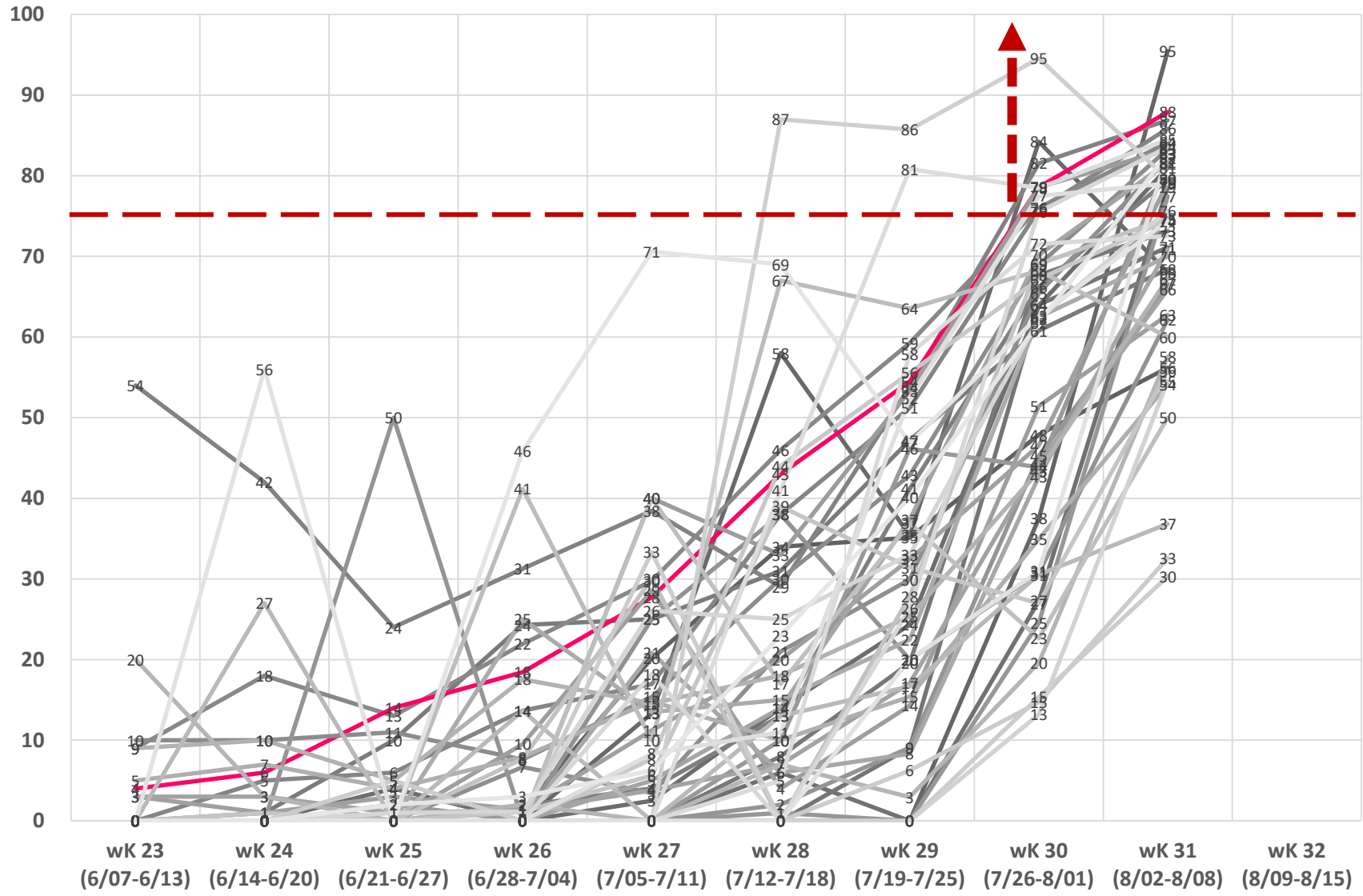


約2か月前にデルタ株が世界を制覇、いま本邦で荒れ狂っています。日本でも酸素不足!!「酸素ボンベの買い占め!」の去年の悪い冗談が現実になっています。

デルタ株は全世界を制覇しつつあります。ワクチンが全世界に行き渡っていたら「少し悪い風邪」でも納得しますが、インドネシアでもインドと同じように酸素ボンベの奪い合いとか……。世界中にSARS-CoV-2をばら撒いて知らん顔の中国と、どこか似てませんか?

Source: CoVariants.org and GISAID

47都道府県のデルタ株の占める割合の推移



75%

デルタ株の47都道府県への浸透推移です。7月26日の週に首都圏及び地方6県(熊本,愛媛,群馬,長野,佐賀,大分)への浸透が75%を越えてデルタ株による第5波流行が始まったと考えられます。

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県

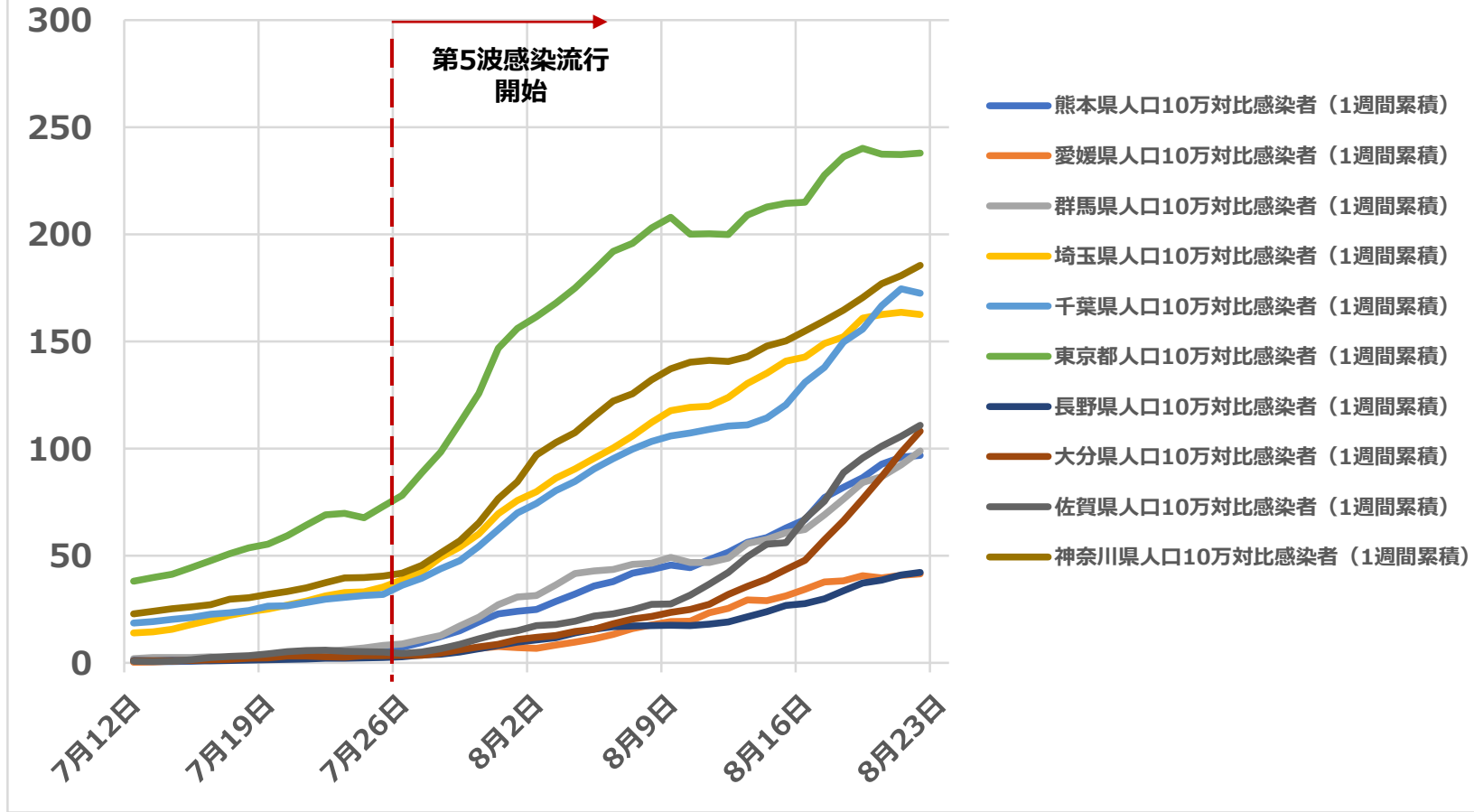
変異株の占める割合（陽性率）

	wK 23 (6/07-6/13)	wK 24 (6/14-6/20)	wK 25 (6/21-6/27)	wK 26 (6/28-7/04)	wK 27 (7/05-7/11)	wK 28 (7/12-7/18)	wK 29 (7/19-7/25)	wK 30 (7/26-8/01)	wK 31 (8/02-8/08)	wK 32 (8/09-8/15)
北海道	0	0	0	1	20	34	35	48	56	
青森県	0	0	0	0	0	0	0	38	95	
岩手県	0	-	0	-	13	58	35	84	68	
宮城県	0	0	4	0	3	14	24	64	81	
秋田県	0	0	0	0	0	6	0	27	79	
山形県	0	0	0	-	0	0	9	64	71	
福島県	0	0	0	0	0	8	20	68	73	
茨城県	0	1	10	24	25	31	47	61	68	
栃木県	0	0	0	2	4	13	41	66	79	
群馬県	54	42	24	31	38	29	54	82	87	
埼玉県	0	5	6	14	17	38	51	76	86	
千葉県	9	18	13	22	30	46	59	76	84	
東京都	4	6	14	18	28	43	54	79	88	
神奈川県	10	10	11	8	15	30	43	69	83	
新潟県	0	0	0	7	3	21	30	65	82	
富山県	0	0	0	0	25	38	20	31	62	
石川県	0	0	50	0	0	2	9	45	67	
福井県	0	-	0	0	0	1	0	25	77	
山梨県	0	0	2	0	0	10	46	44	81	
長野県	0	0	0	0	40	33	53	79	83	
岐阜県	0	0	0	10	29	4	14	51	63	
静岡県	3	1	3	1	11	20	32	47	79	
愛知県	3	3	1	1	4	7	17	44	66	
三重県	0	0	0	0	5	14	37	70	82	
滋賀県	0	0	0	0	21	6	8	43	71	
京都府	0	0	0	25	13	15	22	62	70	
大阪府	5	7	4	8	15	10	15	35	54	
兵庫県	9	10	5	18	15	18	25	43	67	
奈良県	20	3	0	2	0	7	3	20	58	
和歌山県	0	27	0	14	0	13	17	31	37	
鳥取県	-	-	-	41	10	67	64	68	60	
島根県	0	0	0	0	40	17	37	23	50	
岡山県	0	0	0	8	30	0	28	69	75	
広島県	0	1	0	1	6	39	31	27	56	
山口県	0	0	0	0	8	44	56	67	75	
徳島県	0	0	0	0	0	0	6	15	33	
香川県	0	0	5	0	33	0	0	15	30	
愛媛県	0	0	0	0	0	87	86	95	80	
高知県	0	0	0	0	0	0	0	13	55	
福岡県	0	0	1	1	26	25	33	62	76	
佐賀県	0	0	0	0	18	0	26	76	84	
長崎県	0	0	0	0	0	5	58	72	73	
熊本県	0	0	0	0	0	41	81	78	85	
大分県	0	0	0	0	8	11	52	77	79	
宮崎県	0	56	0	0	0	0	20	31	83	
鹿児島県	0	0	0	46	71	69	47	63	74	
沖縄県	0	0	2	3	6	23	40	62	83	
全国	3	5	7	11	21	33	44	67	79	

前頁のもととなった厚労省公表のデルタ株 L452R の47都道府県でのスクリーニング結果の表です。岩手県は7月26日の週に一過性に75%以上ですが検査数が少なく今回の検討からは除外、一方、神奈川県は7月26日の週は69%ですが、総合的に勘案して今回の検討に含めました。

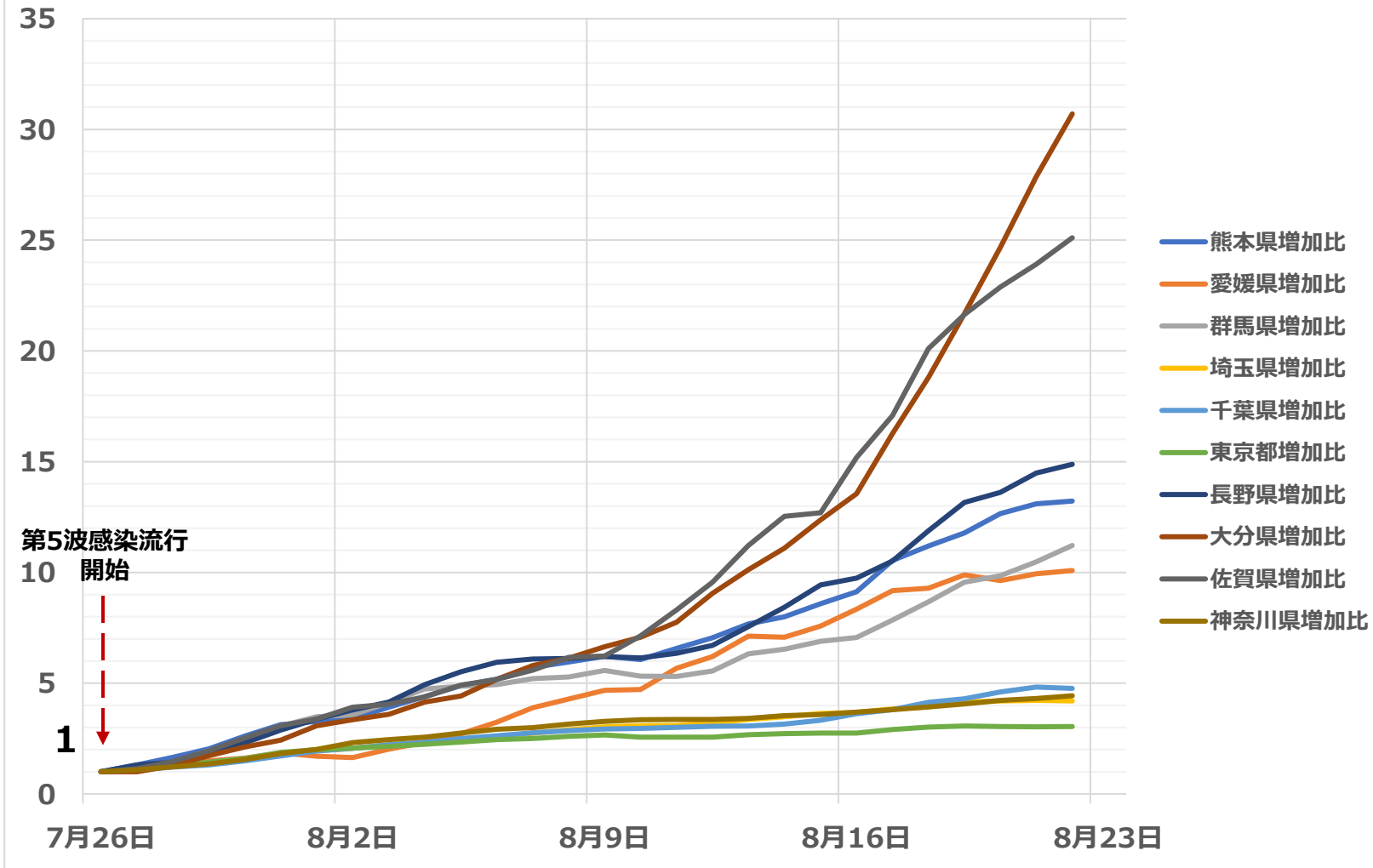
7月26日の週に75%以上となった首都圏4都県(東京都,埼玉,千葉,神奈川県) 及び地方6県(熊本,愛媛,群馬,長野,佐賀,大分県)の流行開始から4週間の推移を今回検討しました。なお、新規感染者数はNHKのプレス・リリースに拠ります。

10万対比新規感染者数(1週間累積)



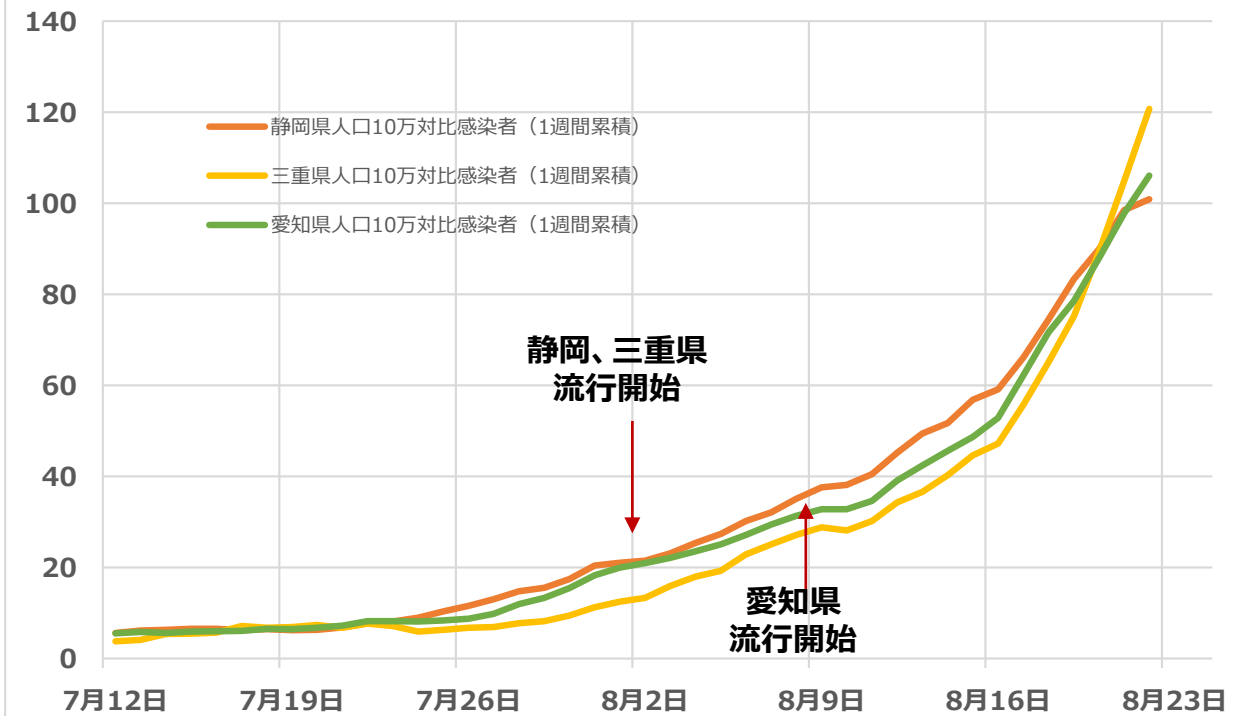
東京都をトップに首都圏4都県の圧倒的な数に目を奪われますが、実は……

第5波感染流行開始からの感染者数の増加比

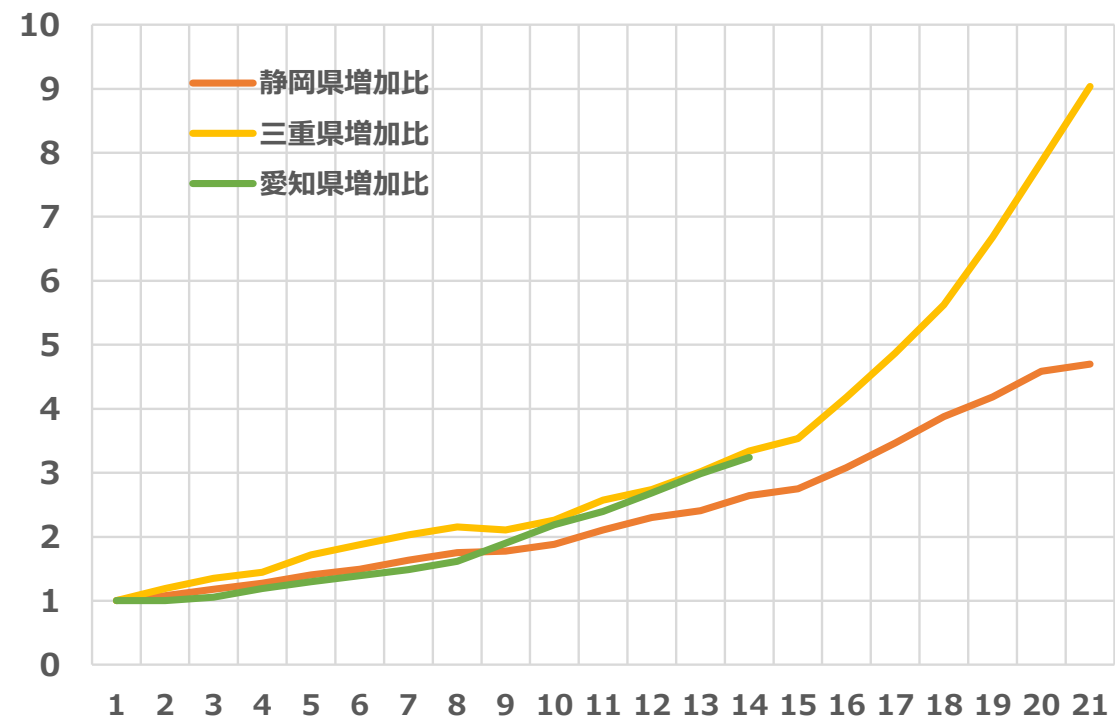


流行開始からの増加は東京都は×3倍、埼玉、千葉、神奈川県は×5倍に迫りつつあります。一方で佐賀、大分県は英国の×20倍を凌駕する勢いです。デルタ株はコロナ空白地帯で一気に拡大するようです。

10万対比新規感染者数(1週間累積)



第5波感染流行開始からの感染者数の増加比



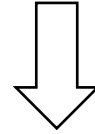
隣県という事で静岡,三重県を愛知県と比較して示しました(岐阜県はL452Rスクリーニングが脆弱で検査数が極めて少なくデータ不在状態です)。デルタ株の占める割合が静岡、三重県では8月2日の週に75%を越えて流行突入、愛知県は8月9日の週です。結構に似通った推移ですが、3県の中では三重県の勢いが目立ちます。

先行する首都圏の埼玉,千葉,神奈川県のご5倍、及び大いなる「田舎の都会」と云う愛知県の特性を考慮して、今回の更新ではピーク時の新規感染者数は流行開始時点のご5~6倍と予測します。

第91報

8.09の新規感染者数(1週間移動平均)は353人でした。
→ $353人 \times 7倍 \div 2,500人$ が第5波ピーク時の愛知県
の新規感染者数(1週間移動平均)と予測します。

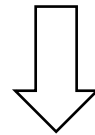
Reported by K Ishikawa, Aug 12, 2021



第92報

8.09の新規感染者数(1週間移動平均)は353人でした。
→ $353人 \times 4倍 \div 1,500人$ が第5波ピーク時の愛知県
の新規感染者数(1週間移動平均)と予測します。瞬間
的には2,000人/日もあり得る。

Reported by K Ishikawa, Aug 17, 2021



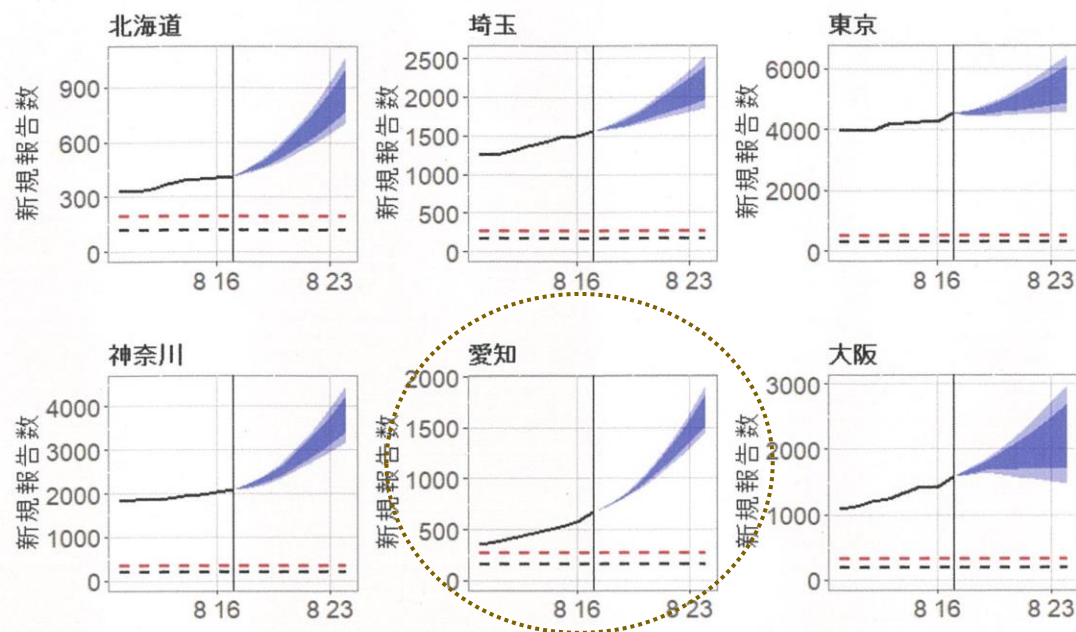
本報

8.09の新規感染者数(1週間移動平均)は353人でした。
→ $353人 \times 5倍 \sim 6倍 \div 1,750人 \sim 2,000人$ が第5波
ピーク時の愛知県の新規感染者数(1週間移動平均)と
予測します。瞬間的には2,500~3,000人/日もあり得る。

Reported by K Ishikawa, Aug 23, 2021

新規患者数（7日間移動平均）のシミュレーション：8月17日作成

第48回新型コロナウイルス
感染症対策アドバイザリー
ボード(令和3年8月18日)
鈴木基先生提出資料より

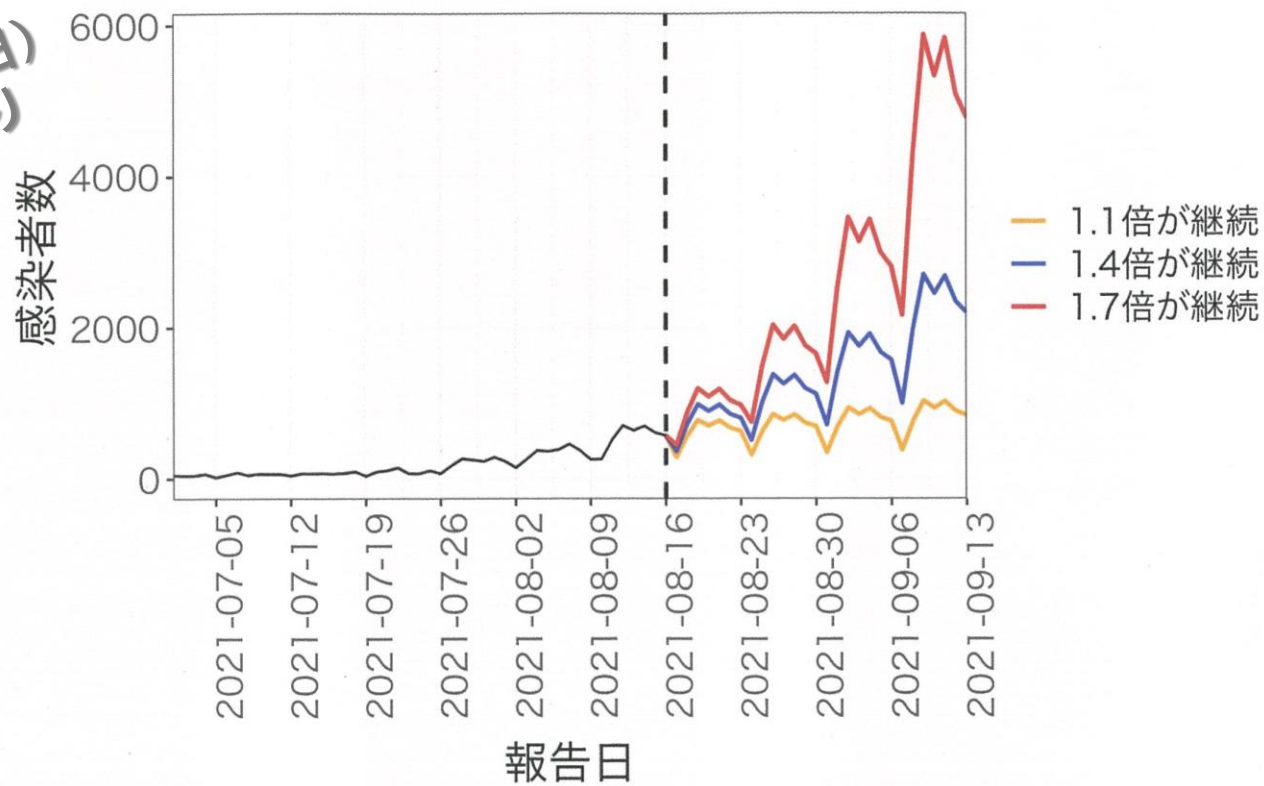


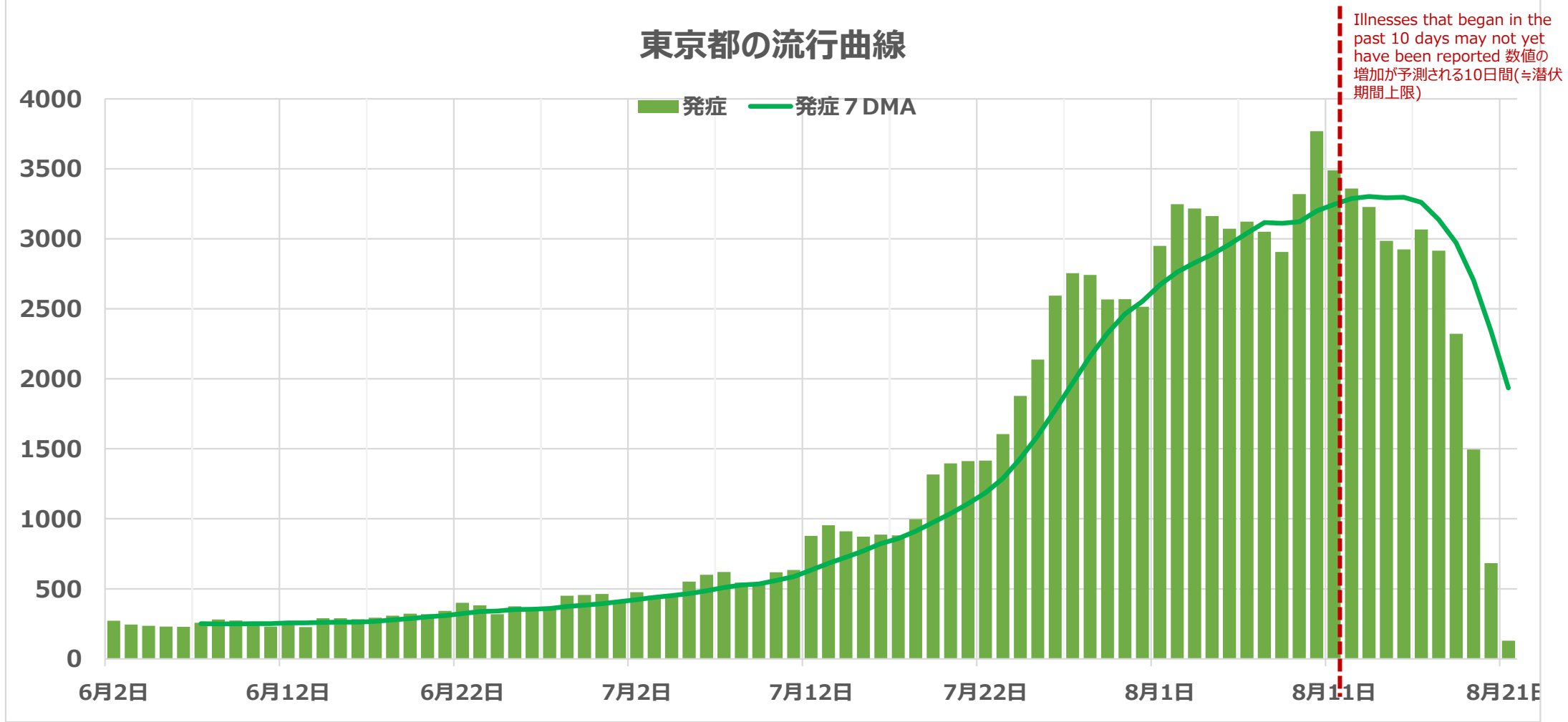
都道府県ごとに、新規症例数（報告日別）を用いてCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で実効再生産数を推定した。次に実効再生産数が8日前の人流、気温、および同日のデルタ株の割合と関係するという想定のもとに時系列回帰分析を行い、これに基づいて今後7日間の実効再生産数の予測を行った。作成日時点の新規症例数の7日間移動平均値を起点として、予測実効再生産数の80%および95%予測区間の上限値と下限値を用いて今後7日間の予測症例数を算出した（図中の青帯）。点線はそれぞれ人口10万対7日間累積症例数が25相当、15相当をあらわす。人流データはGoogle社のCOVID-19：コミュニティモビリティレポート（<https://www.google.com/covid19/mobility/>）、気象データは気象庁の公開データを用いた。デルタ株の割合はP41を参照のこと。

報告日別感染者数の推移 (今週先週比1.1、1.4、1.7 が継続した場合)

愛知県

第48回新型コロナウイルス
感染症対策アドバイザリー
ボード(令和3年8月18日)
西浦博先生提出資料より





東京都の8月22日時点作成の流行曲線・エピカーブからは、今後1週間の東京都の新規感染者数は**横ばい状態・プラトー**と予測されます。

現時点での予測です。1週間の間隔で予測を更新したいと思います。